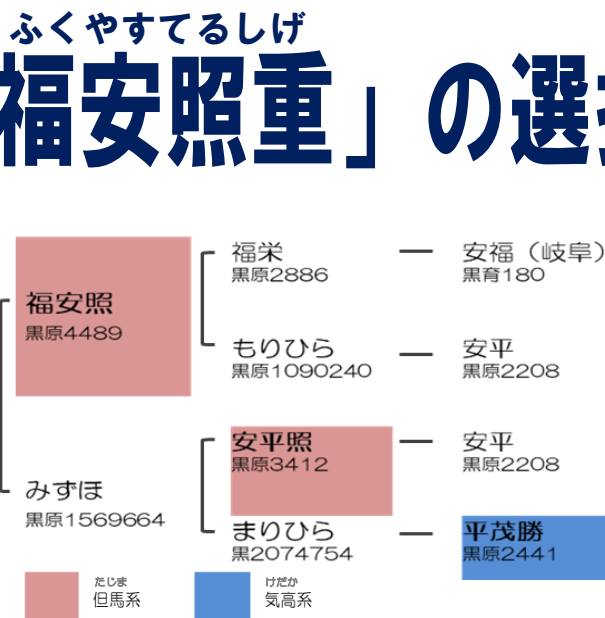


熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2020

黒毛和種種雄牛「福安照重」の選抜



問 研究のねらいは？

答 全国に通用する優良な県産種雄牛の作出が期待されており、牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 現場後代検定成績では、脂肪交雑が「美津福重」に次いで歴代2位を記録し、ロース芯面積も61cm²を超え、肉質面とロース芯面積の改良への貢献が期待されます。

【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(4等級以上)
去勢 14 頭	28.6	445.9	61.8	7.4	1.8	75.2	8.36	92.9% (13/14)
雌 6 頭	28.9	418.0	61.7	7.6	2.4	75.1	7.00	50.0% (3/6)

【産子の枝肉】



性別	雌
枝重	410kg
ロース	75cm ²
バラ厚	7.7cm
BMSNo.	11
等級	A-5

形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい	[Bar chart showing values from -1 to 4]						大きい	-0.59
ロース芯面積	小さい	[Bar chart showing values from -1 to 4]						大きい	1.65
バラの厚さ	薄い	[Bar chart showing values from -1 to 4]						厚い	0.23
皮下脂肪	厚い	[Bar chart showing values from -1 to 4]						薄い	1.71
脂肪交雑	少ない	[Bar chart showing values from -1 to 4]						多い	2.25

標準化育種価 (SBV) とは？

各形質の育種価を同一スケール上で比較したもの。値が+1以上の場合、改良効果が高い。